

西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第6期)進行管理表(抜粋版)

資料 1-2

No.	現計画の体系	頁	施策名	課名	係名(課名)	施策内容	施策の方向性	目標	実施状況		
									平成27年度		
									実施状況	目標達成度	今後の課題と対応策
18	1-2-(3)-①	62	老人福祉センター・福祉会館の再整備を含めた検討	高齢者支援課	地域支援係	福祉会館を介護予防事業の拠点として整備し、市全域で介護予防に取り組みやすい環境を整えます。	充実	福祉会館の耐震改修及び介護予防を市全域で取り組む。	新町福祉会館、富士町福祉会館の耐震改修工事を実施。新町福祉会館の図書館分室を健康増進室に整備。	②ほぼ達成された	平成28年度から新町福祉会館の健康増進室にトレーニングマシンを設置し、市内4カ所目の介護予防の拠点とする。
34	2-2-①	66	介護予防・日常生活支援総合事業の実施	高齢者支援課	地域支援係	介護予防・日常生活支援総合事業を行うために、介護予防や生活支援サービスを担う社会福祉法人、NPO、民間企業、ボランティア等の事業主体と連携しながら、多様な支援体制を構築していく(仮称)生活支援コーディネーターを配置します。	継続	平成27年度に制度設計、平成28年度より実施予定	生活支援サービスにおける市独自基準の策定等を行う。	②ほぼ達成された	課全体での取り組みとならず、係単体で準備を進めることのむずかしさが課題。
45	2-3-①	68	在宅療養、終末期・看取りについての意識啓発	高齢者支援課	在宅療養推進係	市民に対して、医療分野、介護分野のスタッフ又は在宅療養を支えた経験のある家族からの話を聞く講演会などを実施し、在宅での療養や看取りについての理解を深める取り組みを進めます。また、在宅療養に不安を持つ本人や家族の相談に丁寧に応じる体制を整えます。さらに、事例検討会などを実施し、医療・介護スタッフが看取りについて学び、実践につながるよう資質の向上を図ります。	継続	さまざまな機会を設けて、市民啓発を行う。在宅療養推進協議会に市民委員が参加する専門の部会を立ち上げ、市民目線での啓発を行う。	在宅療養推進協議会市民協働啓発部会を設置し、検討を始めた。地域包括支援センター主催の終末・看取りの講演会の開催	③あまり達成されていない	いざというときでないと、介護の問題、死について話すことがタブー視されている。
51	2-4-①	69	小規模多機能型居宅介護サービスの充実	高齢者支援課	介護指導給付係	利用者が安心して自宅で生活できるよう、「通い」を中心として、利用者の状態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する小規模多機能型居宅介護サービスの充実を図ります。	継続	南部圏域に1箇所整備目標を定めている。	小規模多機能型居宅と認知症高齢者グループホームについて、平成27年10月に公募を行ったが、応募事業者なしとなった。	④達成されていない	引き続き検討
74	3-3-(2)-①	75	介護講習会の開催	高齢者支援課	高齢者サービス係	家族介護者に対して、介護技術の向上や身体的、精神的負担の軽減を図るため、介護方法や介護予防、介護者の健康維持などについての知識や技術を習得できる介護講習会を開催します。	継続	事業の効果的な実施に向けた検証と対応	10月、11月に実施し14名が参加	②ほぼ達成された	引き続き、市報等により周知に努めていく。

No.	現計画の体系	頁	施策名	課名	係名(課名)	施策内容	施策の方向性	目標	実施状況		
									平成27年度		
									実施状況	目標達成度	今後の課題と対応策
104	5-2-④	83	在宅療養に係る相談体制の充実	高齢者支援課	在宅療養推進係	在宅療養に関する不安や課題に対応し、適切な医療介護のサービスにつなげるとともに、入退院時の円滑な移行ができるよう支援体制を構築します。また、在宅療養を支える医療機関、介護事業者等が円滑にサービスを提供できるようにコーディネート機能を充実させます。	継続	在宅療養者を支援するために、医療と介護の連携に関する相談体制を構築する。	在宅療養推進協議会「在宅療養支援窓口部会」を設置し、検討を始めた	③あまり達成されていない	地域包括支援センターとのすみわけなど、機能を明確にする必要がある
110	5-3-(1)-⑥	84	「介護の日」事業の実施	高齢者支援課	相談受付係	介護を身近なものとして理解を深めるとともに、地域での支え合いや交流を促進するため、市、社会福祉協議会、介護保険連絡協議会等が連携し、毎年11月11日の「介護の日」事業を継続して実施します。	継続	「介護の日」事業の継続と充実	平成27年度11月11日「介護の日」実施 テーマ「～あなたのチカラを地域のために～広げよう、ささえあいの輪 みんなでささえよう、これまでも、これからも」 延べ来場者数1,293人	①達成された	介護を身近なものとして理解を深められるよう、色々な角度や方向から毎年テーマを選定する。
120	5-3-(3)-②	86	低所得者の利用料の軽減	高齢者支援課	介護指導給付係	社会福祉法人等による低所得者への負担軽減を実施し、介護保険サービスの利用の際に自己負担額の軽減を行います。さらに、市独自の低所得者に対する軽減として、医療的なケアが必要で在宅療養生活を送る高齢者を支援するため、訪問看護サービスについて自己負担額の軽減を行います。	継続	従来からの国制度・都制度に加えて、市独自の制度として訪問看護サービス利用料の負担軽減を実施して、低所得者に対する利用料の軽減施策を充実させる。	平成27年度実績 国制度 5名 32,860円 都制度 5名 25,495円 市独自 29名 133,012円	①達成された	市独自の訪問看護サービス負担軽減制度については、新しい制度であるため、引き続き市民周知に努める。
121	5-3-(3)-③	86	保険料収納率向上の取組	高齢者支援課	介護保険料係	保険料を滞納している被保険者に個別に制度の説明を行い、収納推進嘱託員等が訪問徴収するなど、きめ細かい収納率向上の取組を強化します。	充実	滞納している被保険者に個別に制度の説明を行い、現年の徴収にも力を入れ、きめ細かい収納率向上の取組をします。	現年の未納者への交渉を充実させ収納率の向上を図る。	①達成された	未納者に対してのきめ細やかな対応に取り組む対策を講じる。
122	5-4-①	87	介護人材確保の支援策の検討	高齢者支援課	相談受付係	中長期的な介護人材の確保に向けて、介護職の面接会、市民の資格取得支援も含めた人材の量的確保を検討するとともに、介護職の専門性の向上を図ります。	継続	「地域密着型面接会」開催により福祉分野の人材確保	社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会との共催により平成28年2月4日田無庁舎2階 202・203会議室並びにロビーにて開催	②ほぼ達成された	新たな福祉の担い手と福祉活動希望者の掘り起しに、行政、社会福祉協議会、サービス提供事業者等と連携を図る
128	5-4-⑦	87	介護認定審査会の充実	高齢者支援課	介護認定係	介護認定の審査判定の平準化をさらに推進するため、保健・福祉・医療の専門家により構成されている介護認定審査会について、今後も合議体の長の会議、審査会委員の研修等を実施します。	継続	合議体の長の会議、委員研修等を通じ、介護認定審査の質の向上と平準化を図る。	2月18日合議体の長の会議を実施し、4月1日及び3月10日認定審査会委員全体研修会を実施した。	②ほぼ達成された	合議体の長の会議、委員研修等を通じ、介護認定審査の質の向上と平準化を図る。
131	5-4-⑩	88	在宅療養を支える人材の増加	高齢者支援課	在宅療養推進係	在宅療養を担う医師、看護師等医療職について、東京都や西東京市医師会等と連携して人材確保に努めます。また、各種イベントや大学等との連携も検討します。また、医師会と連携して在宅医療に係る講演会等を行い、在宅医療への理解を深める取組を行います。	継続	在宅医療を担う医師、看護師の増加	多職種連携による、訪問診療の苦手意識を克服する	④達成されていない	多職種連携の研修などへの参加により、顔の見える関係づくりにつなげる。